

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会県予選会

期日：令和4年11月26日（土）

会場：和気町体育館



主 催：公益財団法人岡山県スポーツ協会岡山県スポーツ少年団
一 般 財 団 法 人 岡 山 県 剣 道 連 盟
後 援：岡 山 県 会
和 気 町 教 育 委 員 会

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会県予選会

【日 時】 令和4年11月26日（土） 午前10時30分 開会

【会 場】 和気町体育館

【主 催】 公益財団法人岡山県スポーツ協会岡山県スポーツ少年団
一般財団法人岡山県剣道連盟

【後 援】 岡山県
和気町教育委員会

【次 第】

○開会式（観覧席にて）

- 1 開会宣言
- 2 開会あいさつ
- 3 審判長試合上の注意
- 4 運営上の注意

○閉会式

- 1 成績発表並びに表彰
- 2 閉会あいさつ
- 3 閉会宣言

【試合内容と方法】

- 1 種 別 小学生による団体戦及び中学生男女個人戦
- 2 試合時間 団体戦及び個人戦とも3分
※但し、時間内に勝敗が決まらない場合は、団体戦は引き分け、
個人戦は延長1本勝負制限時間無しで勝敗の決するまで行う。
※団体戦において同勝者数・同勝本数の場合は大将同士による
代表戦を1本勝負制限時間無しで勝敗の決するまで行う。
- 3 規 則 等 一般財団法人全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」並びに「同
細則」及び「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的
な試合・審判法」によって行うものとする。
- 4 審 判 員 一般財団法人岡山県剣道連盟公認審判員により行う。

第 45 回 全 国 ス ポ ー ツ 少 年 団 剣 道 交 流 大 会 県 予 選 会 実 施 要 項

1 趣 旨

本大会は、団員に競技の喜びを経験する機会や技能研修の場を提供するとともに、剣道を通じて団員相互の交流を深め、健康なからだと心を育てることを目的とする。

2 主 催

公益財団法人岡山県スポーツ協会岡山県スポーツ少年団
一般財団法人岡山県剣道連盟

3 後 援

岡山県 ・ 和気町教育委員会 （それぞれ申請中）

4 日 時

令和4年11月26日（土） 9時30分～ 開館

※受付時刻 中学生の部： 9時30分～10時00分 （開会10時30分～）

小学生の部： 11時00分～11時30分

5 会 場

和気町体育館 和気郡和気町福富 312-1 TEL（0869）93-3592

6 参加資格

(1) 指導者（監督）

今年度スポーツ少年団に指導者として登録をしている者（2019年度認定員・認定育成員含む）で、集団指導の能力に優れ、所属市町村スポーツ少年団本部長が推薦する者。

(2) 団 員

下記の条件を満たす者で、所属市町村スポーツ少年団本部長が推薦する者。

①今年度にスポーツ少年団登録をしている、令和3年4月1日現在小学校4年生以上中学校3年生以下の団員

②市町村を単位とした予選会またはそれに代わる適切な方法で出場権を取得した者

7 参加者及びチーム編成

(1) 指導者（監督）は1名とし、上記の参加資格を有する者であること。

(2) 団体試合出場チームは、指導者（監督）1名、団員（小学校4・5・6年生）5名の計6名とし、原則として市町村単位で選抜したチームであること。

(3) チーム編成は、下記のとおりとする。

区分	1	2	3	4	5	指導者 (監督)
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
学年	4年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	有資格指導者
性別	男又は女	女	男	女	男	男又は女

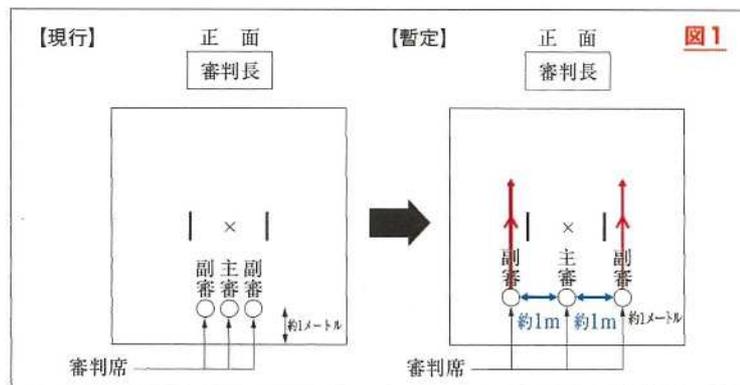
※上表の学年は令和4年4月1日現在のものとする。なお、該当者のいない場合は、学年の下の者が上位の学年区分に出場してもよいが、小学校4年生以上とする。ただし、男女の変更は認めない。

(4) 個人試合出場者は、中学校に在籍中の男女団員とする。

- 8 参加チーム数等（別紙のとおり）
- 9 試合方法
小学生の部・・・団体試合
中学生の部・・・個人試合
※いずれもトーナメント方式とする。
- 10 試合及び審判規則
「一般財団法人全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則」及び、「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」による。
- 11 参加費
1人 500円（団員のみ）
※当日、中学生の部受付時に小学生の部もまとめて徴収いたしますので、おつりの無いようにご用意ください。
- 12 申込方法
市町村スポーツ少年団事務局にて取りまとめのうえ、原本の郵送かつ電子データのメール送信にてお申し込みください。
(1) 申込期日 令和4年11月4日（金） 必着
(2) 申込先 ○原本：郵送
〒700-0012 岡山市北区いずみ町 2-1-3
ジップアリーナ岡山 岡山県広域スポーツセンター内
公益財団法人岡山県スポーツ協会 岡山県スポーツ少年団事務局
○Excel データ：メール送信
kenta_yamae@okayama-taikyo.or.jp
- 13 留意事項
(1) 小学生の部・中学生の部によって、それぞれ受付時刻が異なるため注意すること。
(2) 参加者はスポーツ傷害保険、またはこれに相当する保険に加入していること。
(3) 申込後の選手の変更は原則認めない。
(4) 選手1名につき、観覧希望者1名の入館を認める。
- 14 感染症等拡大防止対策（別添のとおり）
(1) 一般財団法人岡山県剣道連盟が定める「対外試合（大会）開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」並びに、公益財団法人全日本剣道連盟の定める「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に準じて行うことし、当日受付時には一般財団法人岡山県剣道連盟が作成した「体調確認票」（監督・選手・観戦者）を取りまとめて、必ず提出すること。
(2) 別添「日常における感染予防」の遵守を徹底させる。
- 15 全国スポーツ少年団剣道交流大会
(1) 全国大会出場者は、主催者において決定する。
(2) 全国大会 期日：令和5年3月下旬
会場：新潟県
- 16 緊急時連絡先
岡山県スポーツ少年団事務局携帯 080-2910-6272（大会当日のみ）

【新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法】

- 1.新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら、大会毎に大会実施要項に定める。
- 2.試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
- 3.試合者は、鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技時の発声は認める）。審判員は鏝競り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。また、1) 意図的な「時間空費」2) 「防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り反則と判断する」この問題については、審判員の裁量だけで解決するのは困難であり、事前に試合者に対して、十分に指導、徹底することが必要である。
- 4.審判員の密接を防ぐために、審判員の試合場への入退場の際は1 m以上の間隔を空けて行う。図1左図の現行では主審と副審の袖と袖が触れるか触れないかの距離であったが、右図のように主審と副審の袖と袖の間隔を1 m以上空ける。主審は中心の位置に、副審は開始線よりやや外側に立ち、定位置まで開始線の外側を通り直進する。



- 5.合議は図2のように1 m以上の間隔を空けて行う。



- 6.試合終了後に当該試合の反省を行う場合は1 m以上の間隔を空ける。
- 7.試合者、審判員は試合中マスク着用する。それ以外の開会式、閉会式、待機中等においても常時マスクを着用する。また、審判旗は各自で持参して使用する。

【竹刀検査】

竹刀検査は3密状態になりやすく感染リスクが高まるので、次の点に留意して実施する。

- 1.検査を受ける者はマスクを着用する。
- 2.検査員はマスクと使い捨て手袋を着用する
- 3.アクリル板等で検査員と検査を受ける者を仕切る。
- 4.検査→退場のルートを一方通行にする等工夫する。
- 5.待機時に間隔をとる（床にテープを貼る等、位置決めをする）。

令和4年8月31日
一般財団法人岡山県剣道連盟

「対外試合（大会）開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」

一般財団法人岡山県剣道連盟（以下岡剣連）は令和2年10月2日付で「対外試合（大会）開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」（以下「岡剣連大会ガイドライン」）を制定しましたが、コロナ感染の現状を踏まえ、令和4年8月31日付でこれを改定しました。

県下各連盟・団体におかれましては、「全剣連大会ガイドライン」及び「岡剣連大会ガイドライン」を参考に、各連盟・団体の実態に応じた、対外試合（大会）の運営、開催に努めていただきますようお願いいたします。

なお、本ガイドラインと試合審判規則等とが抵触する場合、当面は本ガイドラインの規定を優先します。また、本ガイドラインは、「全剣連大会ガイドライン」、厚生省の「新しい生活様式」、文科省の「学校の新しい生活様式」等、現段階で得られている知見等に基づき作成したものです。今後の知見の集積及び各連盟・団体の状況を踏まえて、逐次見直すことが有り得ることもご承知おきください。

はじめに

岡剣連（以下ガイドラインにおいて「主催者」）は、以下の方針に基づいて対外試合（大会）を開催する。

- (1) 試合会場となる施設の方針を遵守するものとする。
- (2) 本大会の運営に関する全ての関係者に対し、この「対外試合（大会）ガイドライン」の内容を周知徹底する。（関係者とは出場選手とその付き添い・出場選手関係者・審判員・役員・係員のことをいう。）
- (3) 大会スケジュールを策定するにあたっては、入場・受付の密集を避けるために受付時間を幅広く取る、トイレ・休憩室の密集を避けるため休憩時間を長くするなど、全体として時間に余裕を持った計画を立てる。
- (4) 密集・密接を避けるために試合場の広さを勘案した計画を策定する。
- (5) 試合者並びに監督以外（例えば、付き添いや見学者）は原則として入場できないことを、あらかじめ周知徹底する。但し、小学生の大会については、大会ごと要項に記載する。

(6) 試合者並びに関係者に対し、この「対外試合（大会）ガイドライン」を遵守し、安全な対外試合（大会）の運営に協力するよう要請する。

1 対外試合（大会）の実施に向けて

- (1) 施設の入場口・受付・試合会場・駐車場は広いスペースを確保する。
- (2) 試合者はあらかじめ記入した「共通体調確認票」を受付に提出する。
- (3) 消毒剤（手指・物）・非接触型体温計・マスク・ゴム手袋等、感染防止品を準備する。
- (4) 手洗い、うがいのできる場所をなるべく多く確保し、可能な限り多くの場所に消毒用アルコールを配置する。

2 審判員・監督・係員

- (1) 不織布マスク（白色）とフェイスシールドを常時着用し、自分の口と鼻を守り、自身の感染と人への感染を避ける。（ただし、審判員は試合審判中のみ、フェイスシールドの着用を要しない）
- (2) あらかじめ「共通体調確認票」を記入して持参し、事務局へ提出する。
- (3) 受付係員等は、ゴム手袋を着用する。
- (4) こまめに手洗い・うがい・手指消毒を行う。
- (5) フィジカル・ディスタンス（人と人の距離、最低でも1メートル、できれば2メートル）を常に保つようにし、不要な会話を避ける。
- (6) ワクチン3回接種を推奨する。

3 当日受付

- (1) 入場は原則として試合者及び監督のみとし、整理誘導を行う。
- (2) 受付では、手指消毒を徹底させる。
- (3) 試合者に「共通体調確認表票」を提出させ、内容を確認する。
- (4) 「共通体調確認票」で問題がある場合は、参加させない。
- (5) 「共通体調確認票」を持参しなかった試合者には、その場で非接触型体温計等により体温測定を行い、「共通体調確認票」に必要事項を記入させる。
- (6) 人と人の距離を保つため、受付の前に、2メートル毎に目印のテープを貼る。
- (7) 対面する場合は、アクリル板・透明シート等で飛沫を遮断する。
- (8) 受付場所が密集にならないように入場制限を行う。

4 試合・審判規則に関して

- (1) 「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」を感染状況等踏まえながら大会実施要項に定める。
- (2) 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休息を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
- (3) 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、速やかに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。審判員は鏝競り合いを速やかに解消しない場合は、「分かれ」を宣告する。
- (4) 審判員の試合場への入場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- (5) 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。
- (6) 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1メートル以上の間隔を空ける。
- (7) 審判員は、各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール消毒液等を設置し、手指消毒を行う。
- (8) 竹刀検査を行う場合は、以下のことに留意して行う。
 - ① 検査を受ける者はマスクを着用する。
 - ② 検査員はマスクと使い捨て手袋を着用する。
 - ③ 検査員と検査を受ける者とをアクリル板等で仕切る。
 - ④ 検査→退場のルートを一方通行にする等工夫し、待機時には間隔をとる。

5 試合運営に関して

- (1) 密集及び飛沫飛散を避けるため、試合場内・選手席では、以下のことに留意する。
 - ① 試合者は、整列時には面マスクを着用し、試合者の間には適切な距離(最低1メートル)を取る。
 - ② 監督は、試合者・次試合者等への指示を行わない。
 - ③ 試合場内では、ミーティングを行わない。
 - ④ サイン等による指示、試合者への声援、試合者交代時の握手等の禁止行為は行わない。
- (2) 試合場内での密集を避けるため、試合場・選手席・審判員控席・係員席等の間隔が十分に確保されるように試合場を設営する。特に、選手席は、試合者が密集・密接しないよう配置を工夫する。

また、人員を制限するため、次試合以降の試合者の待機場所についても工夫する。

- (3) 係員の役割を明確にし、必要最低限の人数で運営する。

6 施設内での環境整備

(1) 試合会場

- 多くの人が触れる用具、箇所（ドアノブ等）を定期的に消毒する。
- 送風機等を利用して常に換気を適切に行う。

(2) 洗面所（トイレ）

- トイレ出入り口にアルコール消毒剤等とペーパータオルを設置する。
- 手洗い場には石鹸（ポンプ式）を用意する。

(3) 待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、3密を避ける。難しい場合は、入室制限する等の措置を講じる。
- 送風機等を利用して常に換気を適切に行う。

(4) 役員・審判員控室

- 飲食物を扱う場合は、手洗い・手指消毒を行う。
- 湯茶接待は簡素化する。

(5) 観覧席

- 観戦者を入場させる場合は、人数制限等施設側の方針に従う。また、観客席を一席以上空けて使用するなど密にならないような施策を講じ、施設側の人数制限以内の自主的人数制限を設けることも検討する。観戦申し込み者に対しては、氏名、連絡先の報告を求める。
- 観戦者に、会場内で常時マスクを着用するよう協力を求める。
- 声援は、飛沫感染や濃厚接触の恐れがあるため、禁止する。

(6) ゴミの廃棄

- ゴミを回収する場合は、マスク・ゴム手袋を着用する。
- マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸や流水で手洗い、手指消毒をする。

7 試合者の心得

- (1) 「共通体調確認票」の記述で症状等問題がある場合は、参加できない。
- (2) 係員等の指示に従って大会に参加する。
- (3) 試合中は面マスクとシールドを着用する。(マスクは口と鼻を確実に覆うものとし、持病等により鼻を出す必要のある場合は申請すること。シールドは

口元を覆うものとし、形状は指定しない)

- (4) 会場内での会話や挨拶は控えめにする。
- (5) 飲食は指定された場所で密にならず、黙食で行う。
- (6) 上下足の区別を徹底する。(素足のまま屋外等へ出ない)
- (7) 各自こまめに水分補給する。
- (8) ワクチン3回接種を推奨する。

8 大会運営に関して

- (1) 試合者の年齢や性別・習熟度、大会規模、施設、気象、環境等を考慮した上で、感染症の感染拡大及び熱中症予防に向け、適切な大会運営を行う。
- (2) 大会終了後、(一財)岡山県剣道連盟宛に「大会実施報告書(様式は別途指示)」を提出する。
- (3) 「共通体調確認票」は岡剣連にて約1カ月保管する。(個人情報のため取り扱いに注意)
- (4) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、(一財)岡山県剣道連盟へ速やかに濃厚接触者の有無を報告する。
- (5) 「共通体調確認票」は(一財)岡山県剣道連盟ホームページに掲載する。

参加者名簿

- ・小学生の部 P.12 ～
- ・中学生の部 P.14 ～

組み合わせ表

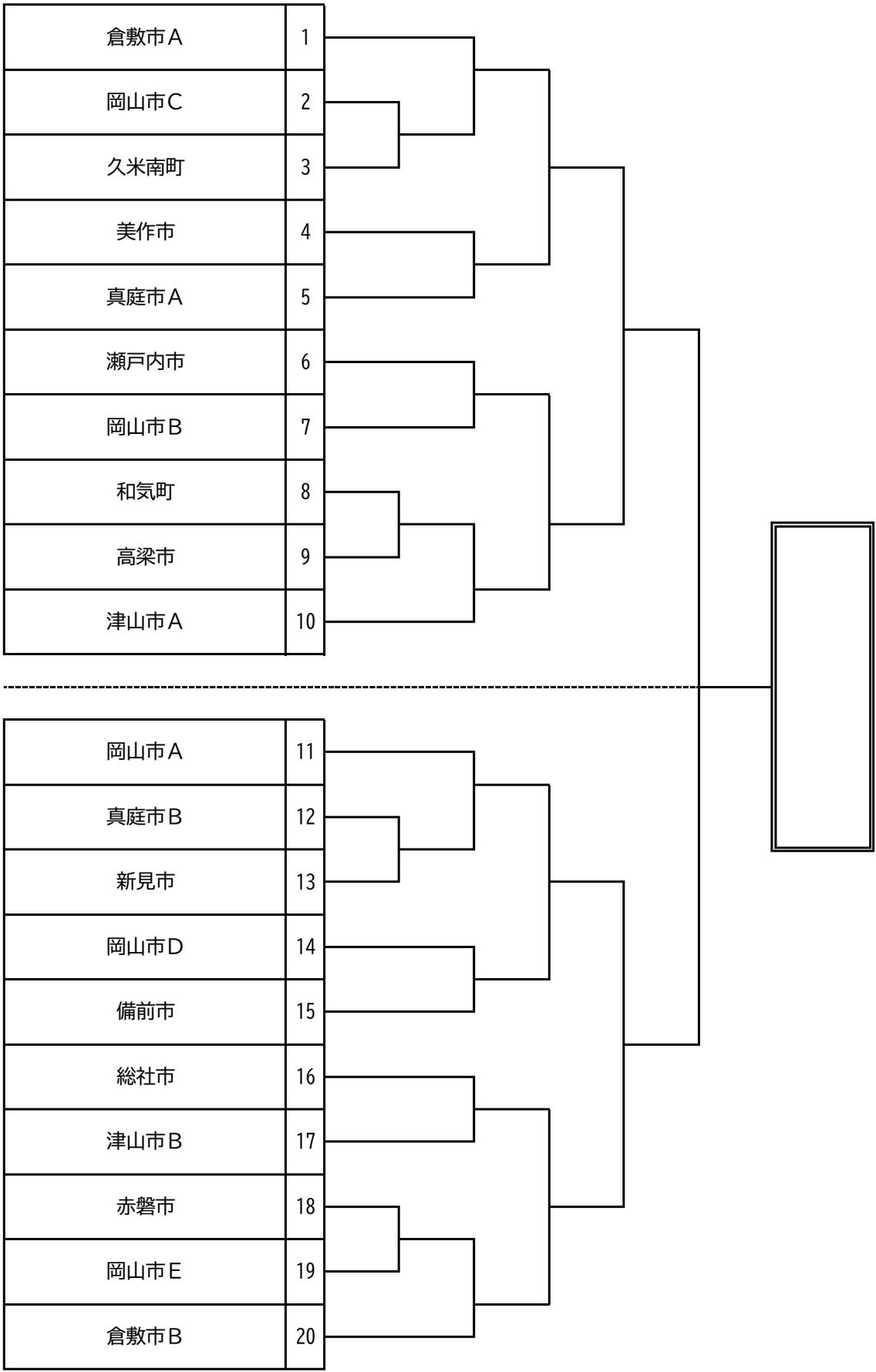
各部参加者名簿の次ページに掲載

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会県予選会参加者名簿

<小学生の部>

チーム名	指導者	1 先鋒	2 次鋒	3 中堅	4 副将	5 大将
1 岡山市A	遠藤公介(南輝剣道)	久永陽斗(旭操剣道)	仲山愛花(芳泉剣道)	藤原幹太(灘崎剣道)	清水結月(南輝剣道)	竹林勇作(南輝剣道)
2 岡山市B	土屋和彦(三勲剣道)	仲山一輝(芳泉剣道)	花田愛夏(富山剣道)	藤原虎徹(操南剣道)	亀井渚月(西大寺剣道)	石田悠翔(大元剣道)
3 岡山市C	苔田祐史(可知剣道)	大饗怜旺(富山剣道)	宮本愛乃(芥子山剣道)	上原威瑠(可知剣道)	森美乃理(西大寺剣道)	吉永徹三(芥子山剣道)
4 岡山市D	脇本教夫(吉備剣道)	竹林瑛介(南輝剣道)	内海愛菜(研心館剣道)	矢延怜也(旭操剣道)	是近有紀(御津建部剣道)	土山晴也(吉備剣道)
5 岡山市E	幡中典生(芥子山剣道)	西崎嘉紀(灘崎剣道)	古市華菜(鯉山剣道)	廣田 暁(西大寺剣道)	船田やよい(御野剣道)	吉岡幸星(芥子山剣道)
6 倉敷市A	尾池八郎(倉敷福田剣道)	勝見篤人(倉敷福田剣道)	島田和呼(倉敷福田剣道)	尾池一成(倉敷福田剣道)	金子未宙(乙島剣道)	中林慧十(倉敷福田剣道)
7 倉敷市B	三宅聡史(昇龍館剣道)	島田峻立(倉敷福田剣道)	金子日咲(乙島剣道)	加治屋琥大(倉敷福田剣道)	岡 希実(昇龍館剣道)	古山青空(倉敷福田剣道)
8 津山市A	山本啓之(嵯峨剣道)	小林華子(津山東剣道教室)	岡田洸奈(津山東剣道教室)	長尾悠生(秀実)	近藤晴香(秀実)	高田晴仁(嵯峨剣道)
9 津山市B	山本達治(津山南剣道)	石原陽幸(久米剣道教室)	高田ゆき(嵯峨剣道)	鳥取 蒼(津山南剣道)	上谷陽南(加茂剣道)	小橋和弥(嵯峨剣道)
10 総社市	元長重人(山手剣道)	田中麻結(清音)	坂本七重(総社剣道)	大月 遥(山手剣道)	高木心羽(総社剣道)	佐伯昇真(山手剣道)
11 高梁市	元石敏宗(地頭剣道)	竹田 翔(高梁落合剣道)	大月里音(地頭剣道)	上原琉央(高梁落合剣道)	山口葉月(地頭剣道)	佐藤 樹(川面剣道)
12 新見市	広瀬一夫(大佐剣道)	吉田惺哉(本郷剣道)	-	貞岡祐輝(大佐剣道)	柴田陽和(大佐剣道)	福田瑛太(新見剣道)
13 備前市	萩原廣志(寒河剣道)	臼井康祐(吉永剣道)	榎本愛生(吉永剣道)	臼井佑太(吉永剣道)	中谷菜穂葵(伊里剣道)	梶藤緒斗(伊里剣道)
14 瀬戸内市	高下 源(裳掛剣道)	岸本愛香(長船第一剣道)	島田明子(邑久剣道)	岸本太一(長船第一剣道)	床 来海(牛窓町剣道)	吉房昂星(長船第一剣道)
15 赤磐市	中川雅夫(山陽剣道教室)	須藤航(山陽剣道教室)	牧田明日美(山陽剣道教室)	岡本大矢(山陽剣道教室)	川上通加(山陽剣道教室)	鈴木悠太(山陽剣道教室)
16 真庭市A	大月博雅(勝山)	金平篤志(久世)	森川綾奈(美川)	杉本完太(美川)	浜田梅花(久世)	本多謙志(美川)
17 真庭市B	市 敏之(川東)	辻本 柁大(天津)	松岡明音(久世)	牧 哲平(川東)	景守結花(久世)	浅野智也(久世)
18 美作市	万殿貴行(英田剣道)	佐々木碧(作東剣道)	青山花楓(作東剣道)	畑中 進(英田剣道)	水島 渚(勝田剣道)	高橋来希(作東剣道)
19 和気町	田代雄一(和気武道館・和気剣道)	石山晴仁(和気武道館・和気剣道)	土井内芽衣(和気武道館・和気剣道)	土井内敬斗(和気武道館・和気剣道)	岡崎弓月(和気武道館・和気剣道)	國友煌大(和気武道館・和気剣道)
20 久米南町	大家勇三(弓削)	頃末 岬(誕生寺)	-	杉山明己(誕生寺)	横満晋奈(弓削)	福井奏介(神目)

【小学生の部】



第一試合場

第二試合場

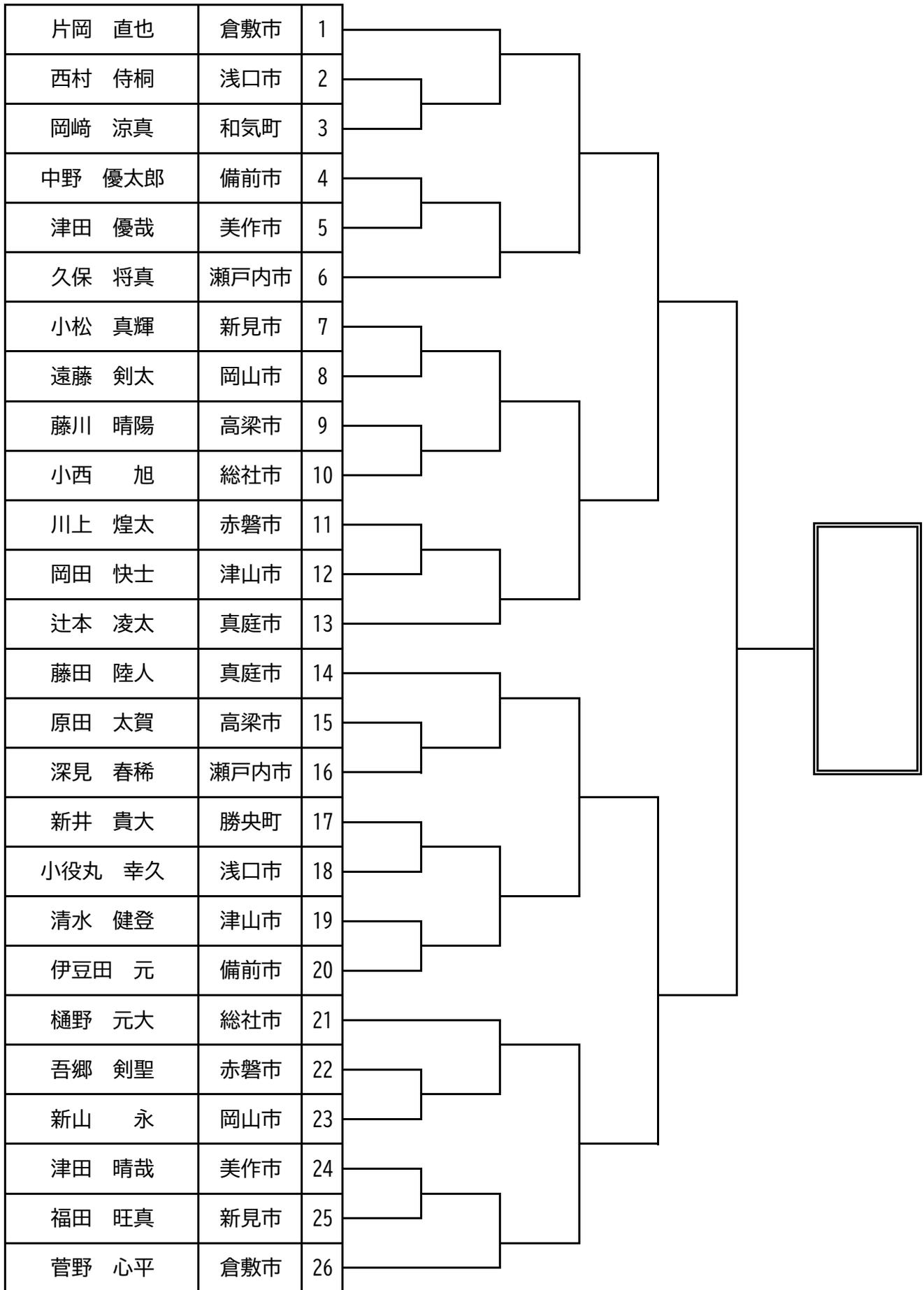
第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会予選会参加者名簿

< 中学生の部 >

	市町村	指導者	男子の部		女子の部	
			遠藤剣太(南輝剣道)	新山 永(芳泉剣道)	近藤真央(富山剣道)	嶋場梨寧(御津建部剣道)
1	岡山市	山本雄三(鯉山剣道)	片岡直也(真備東剣道)	菅野心平(昇龍館剣道)	吉村桜弥(倉敷福田剣道)	尾池星奈(倉敷福田剣道)
2	倉敷市	高橋 誠(真備東剣道)	清水健登(津山南剣道)	岡田快士(津山東剣道)	石原まどか(久米剣道教室)	北本花帆(久米剣道教室)
3	津山市	山本達治(津山南剣道)	樋野元大(久代剣道)	小西 旭(総社剣道)	武田絢葉(山手剣道)	大月あさひ(山手剣道)
4	総社市	元長重人(山手剣道)	原田太賀(高梁剣道)	藤川晴陽(高梁方谷剣道)	赤木里帆(高梁方谷剣道)	-
5	高梁市	元石敏宗(地頭剣道)	小松真輝(新見剣道)	福田旺真(新見剣道)	仲 美波(大佐剣道)	沼本真和(大佐剣道)
6	新見市	安達久雄(新見剣道)	伊豆田 元(伊里剣道)	中野 優太郎(吉永剣道)	榎本愛乃(吉永剣道)	濱本 愛弥華(伊里剣道)
7	備前市	萩原廣志(寒河剣道)	久保将真(邑久剣道)	深見春稀(邑久剣道)	床 和歌乃(牛窓町剣道)	奥田 遥(邑久剣道)
8	瀬戸内市	高下 源(裳掛剣道)	吾郷剣聖(山陽剣道教室)	川上煌太(山陽剣道教室)	-	-
9	赤磐市	中川雅夫(山陽剣道教室)	藤田陸人(久世)	辻本凌太(木山)	坂元日萌(北房)	小林夕姫(美川)
10	真庭市	大月博雅(勝山)	津田優哉(作東剣道)	津田晴哉(作東剣道)	豊福 日菜多(英田剣道)	佐々木 由衣(作東剣道)
11	美作市	万殿貴行(英田剣道)	小役丸 幸久(金光剣道)	西村侍桐(金光剣道)	-	-
12	浅口市	杉野泰正(金光剣道)	岡崎涼真 (和気武道館・和気剣道)	-	横川菘乃 (和気武道館・和気剣道)	-
13	和気町	田代雄一 (和気武道館・和気剣道)	新井貴大(勝央町武道)	-	小倉紗奈(勝央町武道)	-
14	勝央町	植月基行(勝央町武道)				

【中学生男子の部】

第一試合試合場



【中学生女子の部】

第二試合場

近藤 真央	岡山市	1	
坂元 日萌	真庭市	2	
横川 莓乃	和气町	3	
沼本 真和	新見市	4	
北本 花帆	津山市	5	
大月 あさひ	総社市	6	
赤木 里帆	高梁市	7	
奥田 遥	瀬戸内市	8	
豊福 日菜多	美作市	9	
濱本 愛弥華	備前市	10	
尾池 星奈	倉敷市	11	
武田 絢葉	総社市	12	
櫻本 愛乃	備前市	13	
小林 夕姫	真庭市	14	
鳩場 梨寧	岡山市	15	
石原 まどか	津山市	16	
小倉 紗奈	勝央町	17	
佐々木 由衣	美作市	18	
床 和歌乃	瀬戸内市	19	
仲 美波	新見市	20	
吉村 桜弥	倉敷市	21	